

単位数	2単位	学科・学年・学級	第3学年A～G組
教科書	家庭総合 自立・共生・創造（東京書籍）	副教材等	生活ハンドブック（第一学習社）

1 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、衣生活、住生活、子どもなどに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1章	①生涯発達の視点	○各ライフステージの特徴と課題を理解する。	行動観察
	5	自分らしい人生をつくる	②青年期の課題 ③目標を持って生きる ④人生をつくる ⑤家族・家庭を見つめる ⑥これからの家庭生活と社会	○生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つめ、生活課題に対応した意思決定の大切さを理解する。 ○男女が相互に協力して家庭を築くことの重要性を理解し、家庭生活の在り方について考える。 ○家族・家庭に関する基礎的な法律を知り、現在の動きを把握する。 ○家事労働・職業労働について知り、ワーク・ライフ・バランスについて考える。	ワークシート提出 記述の点検 レポート提出
	6	第7章	①被服の役割を考える	○被服のさまざまな役割を整理する。	行動観察
	7	衣生活をつくる	②被服を入手する ③被服を管理する	○被服材料の特徴を理解し、組成表示・取り扱い表示・サイズ表示などの意味を知る。 ○汚れ落ちの仕組みを理解し、被服に適した洗濯や保管方法を知る。 ○平面構成と立体構成の違いを知る。 ○正しい採寸方法を知り、自分のサイズを知る。	ワークシート提出 記述の点検 提出物 期末考査
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	第7章	④被服を作る	○被服製作の基本的事項を確認し、自分に合った被服の製作ができる。	行動観察
	10	衣生活をつくる	⑤衣生活の文化と知恵 ⑥これからの衣生活	○布を使った伝統的な生活の工夫を知り、現代に生かす。	作品 ワークシート提出 記述の点検

第2学期	11	第8章 住生活をつくる	①住生活について考える ②住生活の計画と選択 ③住生活の文化 ④これからの住生活	○住居の機能を考える。 ○平面図の基礎知識を習得し、間取りや動線について理解する。 ○ライフステージに合った住居を考える。 ○室内外の環境に着目し、安全性・快適性等を考慮する必要性を理解する。 ○バリアフリーの考え方を理解する。 ○気候風土に応じた住居や住まい方の工夫、住様式があることを理解する。	行動観察 レポート提出 ワークシート提出 記述の点検 提出物 期末考査
	12				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第2章 子どもと共に育つ	①命を育む ②子どもの育つ力を知る ③親として共に育つ ④子どもの触れ合いから学ぶ ⑤これからの保育環境	○出産前後の健康管理と子どもの発達の様子および発達段階を知る。 ○人生の初期における親・家族や周囲の人々の関わりを大切にする。 ○遊び、基本的な生活習慣の形成、食事、健康管理について知る。 ○子どもを取りまく社会変化の現状について理解し、考える。 ○児童福祉の理念を理解し、子育て支援の在り方について考える。	行動観察 ワークシート提出 記述の点検 提出物 レポート提出

3 評価の観点

関心・意欲・態度	家族、衣生活、住生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けているか。
知識・理解	家族、衣生活、住生活などに関する知識を総合的に身に付けているか。
思考・判断・表現	家族、衣生活、住生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し想像する能力を身に付けているか。
技能	家族、衣生活、住生活などに関する技術を総合的に身に付けているか。

4 評価の方法

ワークシート・レポート・作品、定期考査、授業中の発表内容や仕方、学習に取り組む態度、忘れ物の状況などを総合的に評価します。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

2・3年を通して家庭総合では、講義形式・班別学習・個人作業など様々な形態の学習活動を行います。学習の中で習得した知識や技術をクラスメイトとの関わりを通して、自分以外の誰かと共に生きていく力を身に付けていってください。